

Business & Handicapped

企業×福祉×教育×行政をつなぐ 障がい者雇用 情報紙



8
Aug.
2017



「無題」
詳細は裏面>>

今月の Leading company 障がい者雇用の先進企業紹介



「短時間なら働ける」主婦の方の活躍の場として
コールセンターを設立 障がい者も働きやすい

「派遣事業だけで障がい者雇用していた時は大変だった」と渡邊さんは言います。「労働環境の整備、勤務時間の配慮等で派遣先との連携が足りず、なかなか進みませんでした。派遣先企業に張り付いている訳にもいきません。『最近どう?』と声を掛けるだけで違つたでしょう。」障がい者が活躍するには派遣よりも、直接管理のもと一人ひとり向き合える請負業務の方が向いていると考え、元々幅広い雇用形態を想定していたコールセンターにAさんが加わりました。

人材派遣業の株式会社人材Bankは、「人も企業も支え合つて生きている」の理念のもと、一人でも多くの採用マッチングを生むべく、年間二千名程の求職者のキャリア相談に向き合っています。28年10月に設立したコールセンターでは、身体障がいのあるAさんが活躍中。設立の中心人物で常務取締役の渡邊さんとAさんにお話を聞きました。

本業の派遣から大転換
障がい者を活かす雇用形態

年間1,000人! 障がい者も誰でも、一人ひとり向き合う

株式会社人材Bank 岐阜市 茜部 障がい者雇用数4名

「以前は先入観があり『僕らじゃ無理だ』『問題を起こすかも』と不安でしたが、面談を重視して採用を進めるうち、障がい者もひとくりに出来ないと感じてきました。派遣業で年間一千人程の面談をしても全員違う。障がい者に限らず、一人ひとりと向き合い、いかに働く喜びを感じて頂けるかを大切にしています。」

(裏面へ続く)

障がい者のイメージに変化は? 「本人から特別視してほしくないと言われてます。トイレを洋式に変えたぐらいで、ソフト面では本当に特別視していません。面談も周りと同じです。」
特別な工夫や配慮はありますか? 「Aさん本人から障がいをオープンにしたことで、周りが配慮するようになり、声掛けが増えました。障がいというより身体の特徴の一部という見方で、ごく自然に接しています。」

障がい者雇用でも重視した派遣業のノウハウ



取締役・営業職として多くの面談をした渡邊賢司さん(右)
左はコールセンター責任者で総務部課長の渡辺敬多さん



「仕事を安定させるために、できる事に対しては最大限努力していきたいです。仕事を継続していけるように、日ごろから私生活に気をつけ体調を管理しています。無理せず規則正しい生活が一番ですね。」

今後の目標は？

「周りの目、理解・配慮してもらえたらどうか不安でした。以前居た支援施設の環境とは違いますから。今は時間が経つほど、周りにご理解頂いてると感じています。」

Aさんの障がいは、以前商社で営業職をしていた頃、病気の影響で現れました。

オープンに不安もあったけど理解してもらえ

今後、障がい者でも能力があれば役員としても活躍してほしいそう。派遣業で蓄えた「社員一人ひとりに向き合うノウハウ」を障がい者雇用にも活用していました。

「最初は、障がい者の方からの応募をきっかけに、その方の為にどうすればいいか考え、支援機関に相談しました。その中で人脈が生まれ、自然と自分たちの出来る事で役に立ちたいと思うようになりました。」

渡邊さんは、企業が障がい者を雇用することについて「やってみた実感として、業務のブラッシュアップや気付きに繋がります。障がい者の方が働きやすいということ、健康者も働きやすい環境ということ。職場環境を考えるきっかけを与えてくれました。」と話します。

最初の一步を踏み出せば本業で培った経験も活きる



企業の障がい者雇用について話す渡邊さん

SCHEDULE スケジュール



はたらく障がい者の交流会 (下呂)

企業で働く障がい者が、仲間とともに仕事について話しあう交流会。自分らしく働きつづける方法を考えます。

・はたらく悩みを共有 ・苦勞を克服できた「きっかけ」

9/2(土) 13:30~15:30 下呂市民会館

情報交換会×ワークショップ (岐阜市)

現場ならではの障がい者雇用のアイデアを共有できると好評の情報交換会と、障がい者の手順書作成を体験できるワークショップを同時開催。新発見もあるかも知れません。

9/14(木) 午後 岐阜駅ハートフルスクエアG

※スケジュールは変更になる事があります。

Art & Handicapped 障がい者のアート

表紙では、毎月障がい者のアートを紹介しています。今月の作品の作者は平手一光さん。下でご紹介するアールブリュット美濃展で展示される陶芸作品です。



国際陶磁器フェスティバル美濃'17
アールブリュット美濃展
2017年
9/15(金)~10/22(日)
多治見市 セラミックパークMINO

東濃地方で生活している障がいを持った方達の展示会です。やきもの、絵画、書などいろいろな素材・技法を通して、衝動のままに表現した、たくさんの作品が展示されます。

国際陶磁器フェスティバル美濃実行委員会 TEL:0572-25-4111
<http://www.icfmino.com/>



岐阜県障がい者雇用企業支援センター

〒500-8384 岐阜市藪田南5-14-12 シンクタンク庁舎2階

・岐阜駅から-岐阜バスで約20分「OKBふれあい会館」下車
・西岐阜駅から-くるくるバスで約12分「県民ふれあい会館前」下車

利用時間 月~金 9:00~18:00 (祝日・年末年始は除く)



TEL: 058-215-0582

FAX: 058-215-0583

E-mail center@shougaiigyoshien.jp

URL <http://www.shougaiigyoshien.jp>